

参加者募集

4大学センター(名古屋大学地球水循環研究センター, 東北大学大気海洋変動観測研究センター, 千葉大学環境リモートセンシング研究センター, 東京大学気候システム研究センター)の共同プロジェクトとして平成19年度よりスタートした「地球気候系の診断に関わるバーチャルラボラトリーの形成」プロジェクトによる講習会を開催します。研究を始めた学部生、および大学院生・若手研究者を対象にした講習会の第3回目になる今年は「雲・降水現象のシミュレーションと解析の実習、および解説」がテーマです。興味と関心のある方は是非御参加下さい。

- 日 時:** 2009年9月15日(火)午後 講習
9月16日(水)午前 座学会, 午後 講習
- 場 所:** 名古屋大学 大学院工学研究科7号館4F 情報メディア教育システム主センター端末室B
(名古屋市千種区不老町:アクセスは下記を参照。工学研究科7号館は学内建物配置図の35番です。)
<http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/higashiyama/>
- 内 容:** 講習 「雲・降水現象のシミュレーションと解析の実習、および解説」
以下の両ソフトを使用する講習を予定しています。
・雲解像モデルCReSS(Cloud Resolving Storm Simulator)
・衛星データ・シミュレータ・ユニットSDSU(Satellite Data Simulator Unit)
- 座学講師(予定)
上田 博(名古屋大学地球水循環研究センター長・教授)
坪木和久(名古屋大学地球水循環研究センター・准教授)

参加者のレベル: UNIX系OS(Linuxなど)の基本コマンドを習得していること

定 員: 40名(定員になり次第締め切ります)

申込締切: 6月30日(火)

参加申込: 電子メールに以下のことを記入し、地球水循環研究センター大気圏水循環研究推進チーム(VL推進室)[vl-office@hyarc.nagoya-u.ac.jp]までお申し込み下さい。

- ・氏名
- ・所属
- ・学年もしくは職名
- ・連絡先(E-mail アドレス, 電話番号)
- ・研究内容
- ・旅費希望の有無(上限50,000円まで旅費支給可能)
- ・学内施設宿泊希望
(数に限りがありますので希望者多数の場合は主催者側で選定します)
- ・アンケート(グループ分けに使用します)
UNIX系OSの使用歴 年 か月
数値モデル使用歴 あり/なし
使用描画ソフト名(GrADS, GMT, その他)
興味のある雲・降水現象

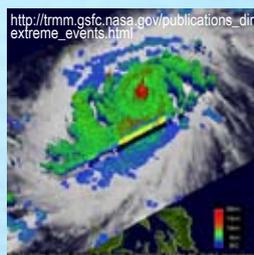
問合せ先: VL推進室(田中知子・大東忠保)
vl-office@hyarc.nagoya-u.ac.jp
〒464-8601 名古屋市千種区不老町F3-1(200)
名古屋大学 地球水循環研究センター
Tel: 052-789-3497 Fax: 052-789-3436

詳しくはVL講習会のHPをご覧ください。

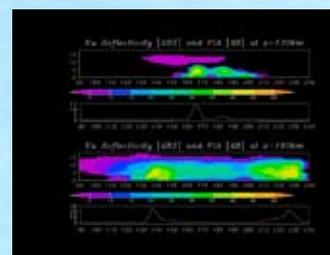
http://www.hyarc.nagoya-u.ac.jp/vl/vl_lecture2009/



雲解像モデルによる台風の雨域の再現例



熱帯降雨観測衛星 (TRMM)
降雨レーダ (PR) の観測例



Satellite Data Simulator Unit (SDSU)
で再現したレーダ観測値



CloudSat衛星雲レーダの観測例